#### こころの健康講座

## 「こころの健康について」

峡南保健福祉事務所 地域保健課

# 1 健康経営と メンタルヘルス対策

## この動画のお話

- 1 健康経営とメンタルヘルス対策
- 2 ストレスとは
- 3 ストレス関連障害(うつ病について)

## 健康経営優良企業は 長期的な業績が良好である



## 健康増進にお金をかけた方が、 最終的には得をする

投資リターン (3ドル)



(出所) 「儲かる『健康経営』最前線 |ニューズウィーク誌2011年3月号を基に作成

## こころの健康づくり対策の 意義と目的

#### 1. リスクマネジメント

健康経営への

(健康・医療スタッフ・事務スタッフ)

(診療施設、フィットネスルーム等)

保健指導等利用費、

システム開発・運用費

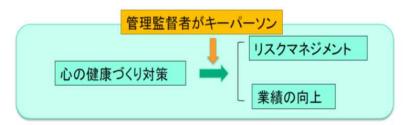
投資額 (1ドル)

人件費

- 1) 「こころの健康問題」⇒「作業効率の低下」+「長期休業の発生等」⇒「労働力損失」
- 2)「こころの健康問題」⇒「労働の場における事故」 ○業務上のメンタルヘルス不調 → 労災自殺 ○メンタルヘルス不調、アルコール依存 → 事故、トラブル

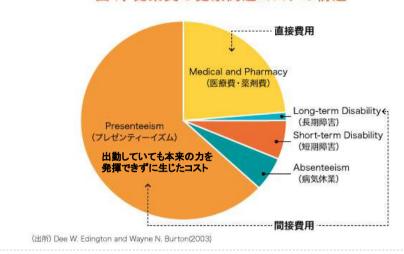
#### 2. 「労働生活の質の向上」+「事業場の活力の向上」⇒ 業績の向上

- 1) 「こころの健康」→「労働者の充実感、創造的な活動」⇒ 労働生活の質の向上
- 2) 「こころの健康」→「労働者の精神的健康の増進」⇒ 労働意欲、事業場の活力の向上



## 生産性の低下によって生じる間接的な健康関連コストが約6割

#### 図1 従業員の健康関連コストの構造



## 2 ストレスとは

## ストレスって?



「なんらかの刺激が身体に加えられた結果、 身体が示すゆがみや変調」

ストレスがかかっても健康であれば (ストレッサー) 元に戻ります。 ストレスがあまりに強かったり、長く続くと 「元の形」に戻りにくくなります。 ストレスが ストレスのない状態 かかっている状態 多くの人はそのことに気づきません。 風船が割れて、つまり心身の不調や 病気になって、初めて気づきます。 元にもどりにくくなる ●生涯を通じて成人の5人に1人は「精神的に不健康」となりうる※ ※厚生労働省「心の健康問題の正しい理解のための普及啓発検討会報告書」より



メンタルヘルス不調になる可能性は誰にでもある!

## ストレスとは・・・

ストレスによる主な症状

#### 身体面への影響

- 肩こり 目の疲れ
- •疲労 •頭痛
- 自律神経の乱れ

## ありふれた症状

#### 心理面への影響

- 不安・落ち込み
- ・イライラ ・不眠
- ■怒り

#### 行動面への影響

- ・生活の乱れ
- ·暴言暴力 ·暴飮暴食
- 飲酒喫煙

## ストレス関連障害

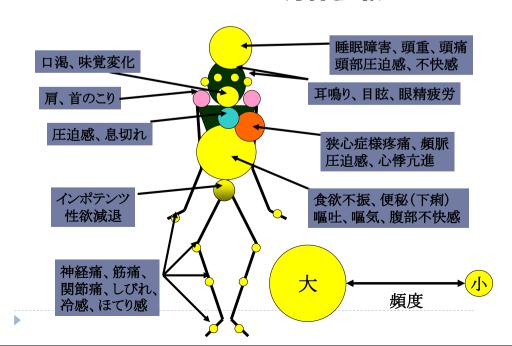
#### 身体疾患

•自律神経失調症 •消化器系疾患 •循環器系疾患 •免疫疾患 •生活習慣病

#### 精神疾患

・うつ・不安障害 パニック障害 -PTSD

## ストレスによる身体症状



## ストレスは人それぞれ

- ▶ 同じ刺激でも、人によって感じ方が違う。
  - ⇒ストレス耐性
- ▶ 例えば人前で話をしなければといけない時・・・
  - この緊張感がたまらない!・・・(^o^)
  - いや無理。ほんと無理。××・・・(T\_T)

## 3 ストレス関連障害とは

## ライフイベントのストレスの度合い

順位	出来事	ストレス信
1	配偶者の死	100
2	離婚	73
3	配偶者との別居	65
4	刑務所での服役	63
4	親密な家族メンバーの死	63
6	自分の大きなケガや病気	53
7	結婚	50
8	失業·解雇	47
9	結婚の承諾	45
9	退職	45
11	家族の健康状態の変化	44
12	妊娠	40
13	性的な悩み	39
13	家族の増加	39
13	勤務先の重大な変化(合併・倒産など)	39

順位	出来事	ストレス値
16	家計状態の変化(向上・悪化)	38
17	親しい友人の死	37
18	転勤、配置転換	36
19	夫婦ゲンカが増えた	35
20	100万円以上の多額な借金	31
21	抵当権損失	30
22	昇格・降格などの責任の変化	29
22	子供の独立	29
22	親戚とのトラブル	29
25	自分が目覚しい業績を達成した	28
26	妻の就職・離職	26
26	本人の入学・卒業・退学	26
28	生活環境の変化(家の新築など)	25
29	服装などの習慣を変えた	24
30	上司とのトラブル	23

順位	出来事	ストレス値
31	労働時間や労働条件の変化	20
31	引越し	20
31	転校	20
34	レクリエーションのための時間の変化	19
34	宗教活動の変化	19
36	社会活動の変化	18
37	100万円以下の借金	17
38	睡眠習慣の変化	16
39	家族が一緒に過ごす回数の増減	15
39	食習慣の変化	15
41	長期休暇	13
42	年中行事	12
43	交通違反などの軽い違法行為	- 11

1年間のストレスの合計	300点以上	299~200点	199~155点
体調を崩す可能性	80%	50%	30%

ホームズ&レイ社会的再適応評価尺度 島 悟,佐藤 恵美:ストレスマネジメント入門,日経文庫,2007

## ストレス関連障害

#### ストレス症候群

- 出勤困難症
- 入社症候群
- 帰宅拒否症
- 燃え尽き症候群

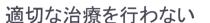
#### 病気

- うつ病
- 不安障害
- 心身症
- 依存症(アルコール、薬物など)

#### ストレス関連障害(うつ病について)

- うつ病とは
- ▶ 生涯のうち1度はうつ病にかかる割合
  - ・・約5~6人に1人男性<女性</li>







約10人に1人が 自殺するおそれがある

- \*うつ病者の80%は 1年以内にほぼ発病前の 状態に戻る
- \* 再発も防げる

#### ストレス関連障害(うつ病について)

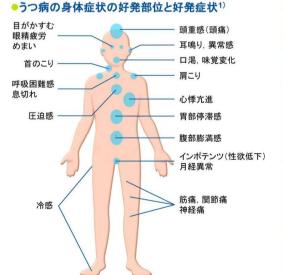
#### うつ病の主な症状

- 1 抑うつ感
  - うつ病の基本障害は気分の障害 「気が滅入る」「うっとうしい気分」 「ゆううつ」など
- 2 興味・関心の喪失 今まで楽しかったことが楽しめない
- 3 身体症状を伴う 睡眠障害、食欲低下・増加、体重減少・増加、 性欲低下、頭痛、便秘などのさまざまな身体症状 を伴う

#### ストレス関連障害(うつ病について)

- 4 思考力・集中力・気力低下 「考えがまとまらない」「集中できない」 「ミスが多い」「会いたくない」 「出かけたくない」
- 5 焦燥感
- 6 思考への影響、視野狭窄、希死念慮 思考内容が悲観的、絶望的になる 「全て自分が悪い」「自分の能力が劣っている」 「悪いことは全て自分のせい」「もう死ぬしかない」

## 身体の病気では、と感じることも多い



#### うつ病の身体症状の出現頻度<sup>2)</sup>

出現率 出現率 症状 (%) 82~100 めまい 27~70 54~92 耳鳴り 53~94 感覚異常 食欲低下 48~89 39~75 便秘·下痢 42~76 39 悪心·嘔吐 9~48 36 58~74 腹痛 体重減少 38 呼吸困難感 9~77 関節痛 30 心悸亢進 38~59 四肢痛 25 性欲減退 61~78 発汗 20 月経異常 41~60 振戦 10~30 70

## 「うつ的な気分」と「うつ病」の違い

#### うつ的な気分

嫌なこと、悲しい出来事があれば、誰しも 気分は落ち込みます。



正常範囲であれば、それ以上に深刻になることはなく、自然に回復します。

#### うつ病

気分が落ち込むだけではなく、日常生活に影響する範囲が大きくなります。



眠れない、食欲がなくなる、物事が億劫になる、 物事に対する興味を失うといった症状が 長く続きます。

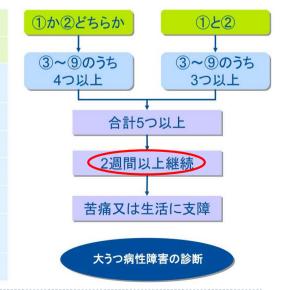
島 悟,佐藤 恵美:ストレスマネジメント入門,日経文庫,2007

## 「うつ的な気分」と「うつ病」の違い

	通常の憂うつ感	うつ病
強さ	弱い	強い
持続性	長くても2~3日	1週間, 2週間と長く続く
日常生活	それほど阻害されない	大きく阻害される
きっかけ	はっきりしている	はっきりしていないこともある
気分の始まり	きっかけの直後に起こる	きっかけからしばらくたって 起こる場合もある
日内変動	特になし	午前中に強く、夕方から夜にかけて 楽になることが多い
状況からの影響	よいことがあると少し気が晴れる	よいことがあっても気が晴れない
仕事・趣味	やっていると気がまぎれる	まったく手につかない
周囲からみて	理解できることが多い	理解できないことが多い
妄想	現実からずれない	妄想的になることがある
自殺	比較的まれ	自殺することがある

## うつ病の診断

- ① 抑うつ気分
- ② 興味・喜びの消失
- ③ 食欲または体重の 減少または増加
- ④ 不眠または睡眠過多
- ⑤ 精神運動制止または焦燥
- ⑥ 易疲労または気力の減退
- ⑦ 無価値感, 罪責感
- 8 思考力・集中力の減退または決断困難
- 9 奇死念慮または自殺企図



#### うつ病の治療(ダムに例えると)

うつ病の治療は、休憩を十分とり、心も身体 も休ませることが大切です。

また、抗うつ薬はエネルギーを蓄えるのに役立ちますが、効果が出るまでは時間がかかります。

抗不安薬はエネルギー の使いすぎ防止に役立 ちます。





